

事業所名	グループホーム 神庭荘
日付	平成18年10月26日
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	① 介護支援専門員・介護福祉士 ② 訪問介護員2級
自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)	
評価項目内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)	
事業者のコメントを見る (評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります)	

※

Ⅰ 運営理念			
番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。		
介護に携わっている自分達が入居者になった時グループホームはどうあればいいのか、又、どんなグループホームがあったらいいのか、入所者が幸せになれるグループホームを目指している。			

Ⅱ 生活空間づくり			
番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり	○	
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり	○	
4	建物の外周や空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。		
入居者の経歴や現況を把握して一人ひとりにあった暮らし方を支援し、コミュニケーションを大切にした場づくりに取り組んでいる。			

Ⅲ ケアサービス			
番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人で行えることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

講評	
全体を通して(特に良いと思われる点など) ・特別養護老人ホームとの併設が、緊急時の対応や日常生活における継続的な支援など、職員・入居者・家族への安心に繋がっている。 ・ホームは山あいの静かな環境にありディサービス、居宅介護支援事業所、在宅介護支援センターが隣接しており認知症高齢者はもとより高齢者福祉への取り組みを前向きに行っている。	
特に改善の余地があると思われる点 特にありません。	

Ⅳ ケアサービス(つづき)			
番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人の力と経験の尊重やプライバシー保護の為に取り組んでいるものは何か。		

基本情報をしっかり把握し、現状に合わせて一人ひとりを大切にしたい支援が行われている。日々の暮らしの中でのプライバシー、個人情報に関わるプライバシーなど入居者や家族の同意を得て、不安や支障が生じないよう心がけている。

Ⅳ 運営体制			
番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
高齢者福祉への係わりが長い事による慣れを常に意識し、経験のプラス面を活かした介護と、現状に即した新しい介護も取り入れながらサービスの質の向上に努力している。又、日々の業務の中でもヒヤリハットの防止に心がけ、原因や対策を話し合い再発を防ぐ努力をしている。			